

平成 23 年 9 月の地震活動及び火山活動について

○ [地震活動]

9 月 7 日 22 時 29 分に日高地方中部で M5.1 の地震が発生し、北海道新ひだか町三石旭町で最大震度 5 強を観測しました。

9 月 21 日 22 時 30 分に茨城県北部で M5.2 の地震が発生し、茨城県日立市十王町友部で最大震度 5 弱を観測しました。

9 月 29 日 19 時 05 分に福島県浜通りで M5.4 の地震が発生し、福島県いわき市三和町で最大震度 5 強を観測しました。国土地理院の GPS 観測では、この地震に伴う小さな地殻変動が観測されました。

このほか、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、岩手県沖から茨城県沖の広い範囲で発生しました。

国土地理院の GPS 観測結果では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」後の余効変動が継続していますが、その変動速度は小さくなってきています。

全国で震度 3 以上を観測した地震の回数は 57 回、日本及びその周辺における M4.0 以上の地震の回数は 191 回でした。

震度 3 以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙 1 のとおりです。また、世界の主な地震は別紙 2 のとおりです。

○ [火山活動]

霧島山（新燃岳）では、8 月 31 日（期間外）に発生した小規模な噴火は 6 日まで継続しました。また、7 日にごく小規模な噴火が発生しました。国土地理院の GPS 観測結果では、霧島山周辺で、「えびの」－「牧園」、「牧園」－「都城 2」、「都城 2」－「えびの」の基線において、新燃岳で 1 月 26 日に噴火が発生して以降、2 月 1 日まで顕著な縮みの傾向が見られましたが、その後伸びの傾向が見られます。新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには深部からのマグマの供給が続いており、マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、噴火活動が再び活発化する可能性があります。新燃岳火口から概ね 3km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、昭和火口で爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、やや多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火を含む噴火が時々発生し、噴火活動は活発に経過しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注2：国土地理院のGPSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成23年9月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2011-goudou1006.html>

注3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成23年9月号をご覧ください。

注5：平成23年10月の地震活動及び火山活動については、平成23年11月9日に発表の予定です。